

自分の未来がここにある

ゆたかな人間性と確かな技術をあわせもつセラピストを目指そう！
その道のエキスパートの先生について学べます

運動学/篠田光俊（スポーツケア）

スポーツケアは、ケガの救急処置から、スポーツ活動への復帰、再発防止等のケアを行います。

運動学/川村和之（小児ケア）

小児ケアは、脳性まひ等の運動発達障害児の、体の潜在的な機能や能力の発達支援を行います。

解剖学/太田慶一（体内解剖学）

解剖学は、もっとも重要で、ボリュームのある科目です。骨、筋、神経など13項目に分かれています。

神経内科学/久保田競 倫理学/福吉勝男 脊髄損傷理学療法学/武田功他

実績のある実力派の先生方がみなさんを待っています。

スポーツにはケアが必要です。

- ◎ WHOは、「健康とは身体的・精神的・霊的・社会的に完全に良好な動的状態……。」と定義しています。
- ◎ 一般財団法人愛知県高等学校野球連盟のメディカルサポートは愛知県理学療法士協会が行っています。
- ◎ スポーツ選手には、怪我や故障を起こす前のメディカルチェックによる障害予防が効果的です。
- ◎ 県、病院、個人でスポーツケア(トレーナー、メディカルサポート)に関する理学療法士が増加しています。

学ぶなら「国際医学」がベスト！

国際医学のスポーツケア育成の取組み

- ◎ 井戸田力校長は、東海地方ではスポーツケアで著名な、井戸田整形外科名駅スポーツクリニックの院長先生です。
- ◎ 卒業生の三津橋さんは、大学のチアリーディングサークルのスポーツトレーナー。毎週学校に研究にきています。
- ◎ 篠田先生は大学の学生トレーナーの指導経験があり、現在は愛知高野連のメディカルサポーターです。
 - ◎ 篠田ゼミでは、運動器疾患(スポーツケア)治療を行うための、知識・技術が学べます。
 - ◎ 卒業生の多くが学校にきます。卒業生の学校の施設設備利用は自由です。

篠田先生の最近の業績（投球障害に関する発表）

- ◎ 【優秀賞受賞】第18回整形外科リハビリテーション学会学術集会 一般口述発表
「SLAP lesion 様症状を呈する症例に対して後上方組織の柔軟性獲得により症状が軽快した2例 - 伸展内旋位の可動域に着目して - 」
- ◎ <学会発表> 第9回肩の運動機能研究会 一般口述発表
「肩関節伸展30度位内旋角度と疼痛の関係」
- ◎ <学会発表> 第10回肩の運動機能研究会 ポスター発表
「野球選手の烏口肩峰靭帯の組織弾性と肩関節屈曲内旋制限の関係」
- ◎ <学会発表> 第11回肩の運動機能研究会 一般口述発表
「小胸筋のストレッチング肢位における肩甲上腕関節内外旋運動の影響」

